

令和8年度 グリーンスローモビリティ実証実験_大谷口地区第2回WS 議事要旨

■日時：令和8年7月22日（水）14時00分～

■場所：細野自治会館

■出欠：参加者18名（細野自治協力会10名、周辺自治会4名、関係者4名）

■次第

1. 開会挨拶
2. 運行内容（案）について
3. 運行時間及び運行頻度について
4. 今後について
5. 閉会挨拶

■配布資料

次第

- 資料1－1 前回内容の振り返り
- 資料1－2 停留所について
- 資料1－3 ダイヤ設定について
- 資料2 運行頻度について
- 資料3 今後について
- 参考 8月全戸配布予定のチラシ

■議事要旨

■議題

(1)実証実験における運行計画について

運行日：令和8年10月1日～10月14日（平日のみ、土日祝は運休とする）

運行ルート：北側ルート・南側ルートの相互運行とする

北側ルートはサミットへの行きやすさを考慮し、反時計回りで運行

南側ルートはコミュニティバスとの接続を考慮したダイヤ設定とする

運行頻度：9時～15時（1日5便とし、昼1時間休憩）

乗車方法：停留所のみの乗降とし、フリー乗降は行わない

その他：暴風雨や落雷等の荒天時は運休とし、運行管理者・運転手の現地判断も可

利用者には荒天時の急な運休がある旨、事前周知する

(2)今後のスケジュール

- ・運行中止の周知方法、連絡体制、シフト管理、ボランティアの役割分担、問合せ・トラブル対応等地域サポーター説明会までに検討・整理する。
- ・8月に実証実験予告チラシ、9月に運行内容を明記したチラシを各自治会にて配布いただく。
- ・引き続き、ボランティア協力いただける方々を募っていただく

■その他意見

- ・現時点で運転手・地域サポーターが十分ではないが、実験期間は限られているためグリスロ運行を間引くことなく運行できるよう、何とかボランティアを確保し、実証実験を行いたい。（地域団体）
- ・本来であれば、15時以降の便の運行も考えたが、運営側の負担を考慮し、今回の実証実験では15時までの運行が妥当と判断した。（地域組織）